

教育研究所だより

宮古島市立教育研究所
 指導主事 砂川 睦紀
 宮古島市平良字西里1140
 TEL 73-1104

運動療育を活用した特別支援教育 指導員派遣プログラム

～第1回目訪問の様子～

7月15日（木）新事業の第1回目の訪問が行われました。初回となった平良第一小学校と北中学校におかれましては、私の説明や連絡調整が不足して混乱させてしまったこと、決定通知文の送付が前日（ほぼ当日）になってしまったことなど、大変ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。さて、本事業は特別支援教育に携わる先生方が指導の場面や実践的な対応において抱えているたくさんの困り感や課題の解決を図ることを目的としています。

今回は第1回訪問の様子を紹介致します。研究所としましても初めての事業で、当日の流れや実際にどのような活用になるのか手探りの状態だったので今後活用を予定している学校の参考にもなればと思います。訪問に先立ちまして、「限られた時間の中でポイントを押さえた巡回にしたい」との栄先生から依頼があり、各学校には巡回対象児童生徒の資料を準備して頂きました。こちらにも急遽ではありましたが、対応頂きありがとうございました。

宮古島市立平良第一小学校 9:00~12:30

平一小学校では、1～3校時に各学級の授業の様子を参観させて頂きました。特に気になる児童の様子を特別支援教育コーディネーターの佐和田典子先生の案内のもと巡回が行われました。その後、4校時に校長室にて各学級担任の先生方、1人ひとりへのフィードバックが行われました。参観からの見立てや準備資料に基づいたアドバイス、児童の様子や姿勢から運動療育面のアプローチの方法などについてのフィードバックが行われました。



☆平一小でのフィードバックの様子

以下、アンケートに回答頂いた感想を紹介致します。

宮古島市立北中学校 13:30~16:45

北中学校は午後からの巡回でした。昼休みの時間に6組から11組までの支援学級の様子を特別支援教育コーディネーターの佐渡山聖枝先生から説明いただきました。その後、5時間目に2年5組肢体不自由学級を参観させて頂き、6時間目から会議室で支援学級担当の先生方へのフィードバック（スキル講習）を行いました。



実際の生徒の様子を参観できませんでしたが、先生方に用意して頂いた準備資料をもとにしたフィードバックとなりました。平一小とも共通しますが、フィードバックの際の栄先生からの聞き取りの内容としては、担任の学級に対する見立てや特に気になる子への「これまでうまくいったと思える対応」「よくなかったと思える対応」などがありました。

1人ひとりの生徒の実態に関して、栄先生から対応策など丁寧に助言をいただきありがとうございます。目からうろこの情報ばかりで、2学期からの指導計画にも生かせると、担任の先生方も含め感謝しております。また、栄先生の指導助言のおかげで自立活動の内容も深まりました。

